

取扱説明書

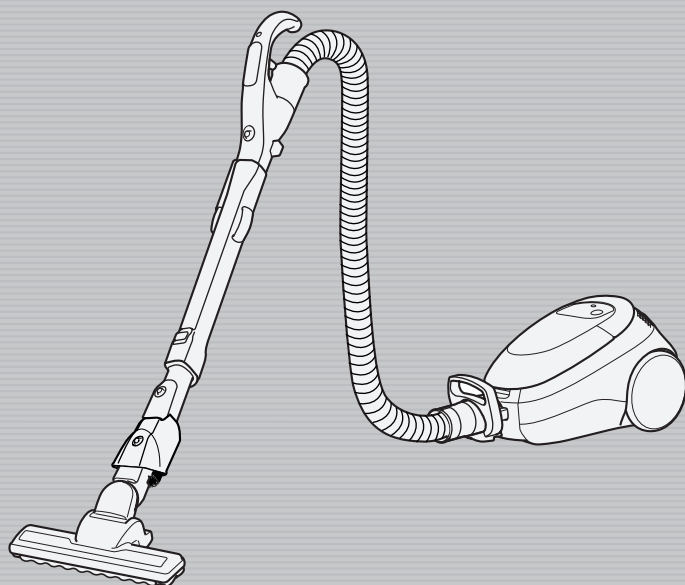
保証書別添付

HITACHI
Inspire the Next

日立電気掃除機

型式

CV-SLC07



ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」 → P.6~7 をお読み
いただき、正しくご使用ください。

もくじ

ご使用の前に

● 特長とお願い	2
● 各部のなまえと組み立てかた	4
● 安全上のご注意	6

使いかた

● 運転のしかた	8
● お掃除のしかた	9
・ パワーヘッドの動かしかた	9
・ パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて	9
・ ペタリンコ構造・クルツと構造	9
・ クルツとブラシ	10
・ すき間用吸口	10
・ あると便利な別売り吸口	11

お掃除が終わったら

● ごみの捨てかた	12
・ 「立体フィルター」のごみの捨てかた	12
・ 「ダストフィルター」のごみの捨てかた	13
・ ティッシュペーパーの取り付けかた	14
・ 本体のランプ(ごみすて/フィルターお手入れ)について	15
・ 上ふたのストッパーについて	15
● 吸込力が弱くなったら	16
● あとかたづけ	17
・ 電源コードの巻き取りかた	17
・ 収納のしかた	17
● お手入れのしかた	18
・ 本体・付属品	18
・ パワーヘッド	18

こんなときは

● 故障かなと思ったら	20
● アフターサービスと保証	22
● 別売り部品	23
● 仕様	24

特長とお願い

「ごみダッシュ」で、ごみ捨て簡単・清潔。

「Wブルツとエンジン」で、強力パワー長持ち。

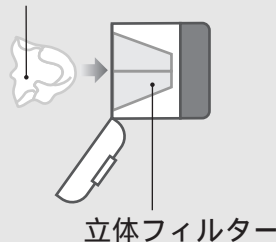
ごみダッシュ パッと飛び出す！清潔ごみ捨て

吸い込んだごみがワンタッチで飛び出し、簡単に捨てられます。 → P.12

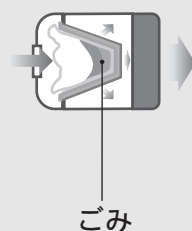
ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。 → P.14

1 立体フィルター内部にティッシュペーパーを取り付けます

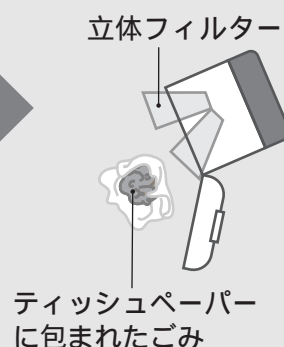
ティッシュペーパー



2 ごみを吸います



3 ごみを捨てます



◀ごみダッシュ



- ティッシュペーパーは市販されている2枚重ねのものをご使用ください。
- ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
- ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。
- ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがあります。

●サイクロン方式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、ダストケースのお手入れが必要です。 → P.12～16

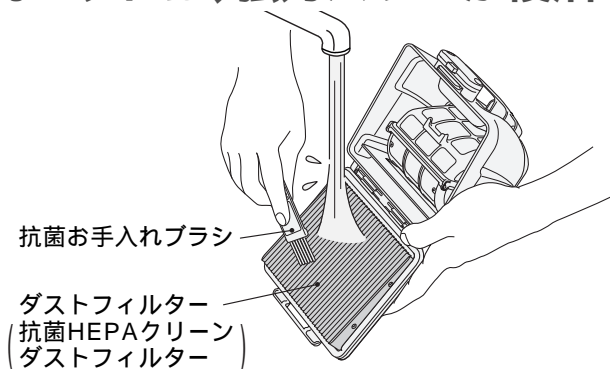
ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

洗えるダストフィルター 水洗いすれば、強力パワーが復活

チリ離れ性、耐久性に優れた、新素材のダストフィルターを採用。

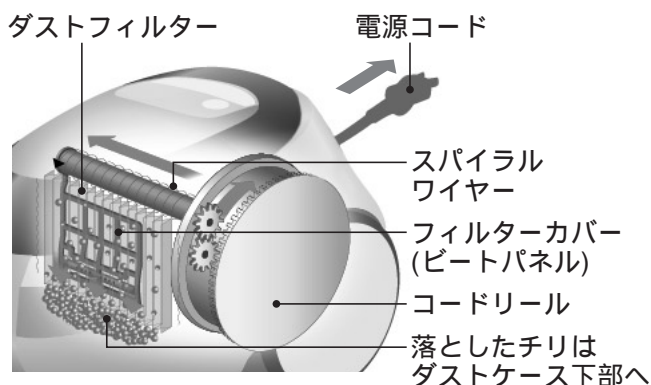
付属の「抗菌お手入れブラシ」を使って水洗いすれば、強力パワーが復活します。



- 本体のランプで、お手入れ（水洗い）の目安をお知らせします。→ P.15
- 付属の「抗菌お手入れブラシ」以外のブラシは使用しないでください。
- 水洗い後は、必ず自然乾燥させてから本体に取り付けてください。
乾燥には約12時間必要です。（乾燥時間は、環境や季節によって異なります。）

Wブルッとエンジン

電源コードを引くと、「スパイラルワイヤー」がダストフィルターを強力に振動させ、さらに「フィルターカバー」がダストフィルターをたたいて、付着したチリを落とします。お掃除のたびにフィルターが自動でリフレッシュされるので、強力パワーが長持ちします。



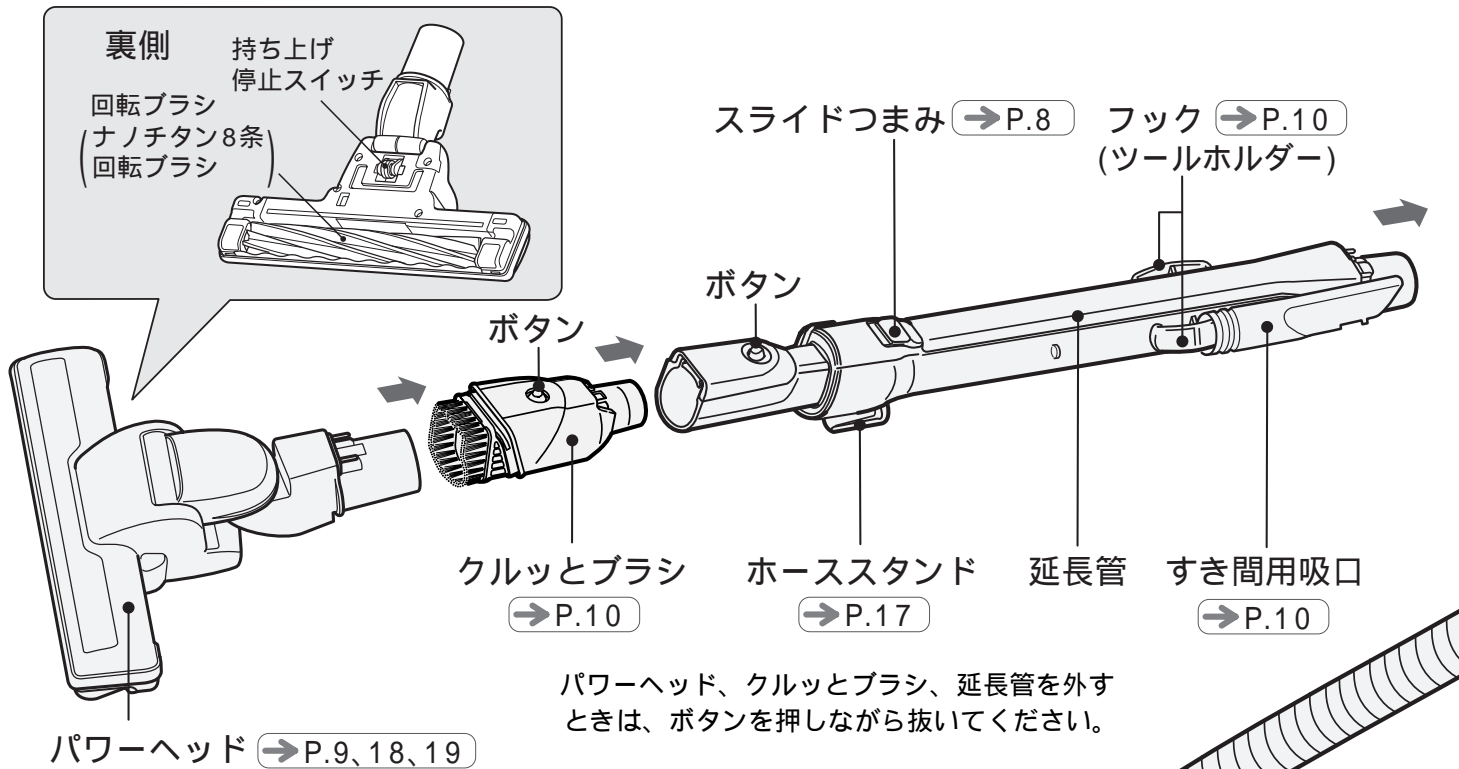
注意

けがのおそれあり

ダストケースを取り外したまま電源コードを引き出すと、スパイラルワイヤーの回転やフィルターカバーの振動で、手などをけがすることがあります。

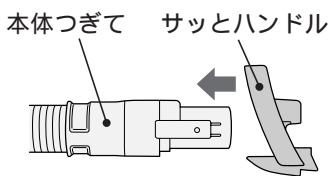
- チリ落としの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
- 電源コードを引き出すとき、巻き取るときのカタカタ音は「Wブルッとエンジン」の音ですので異常ではありません。
- 電源コードを巻き取るときは、チリ落としをしません。

各部のなまえと組み立てかた

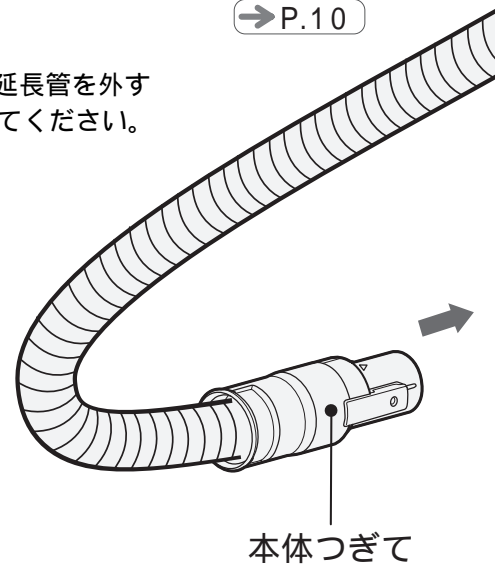
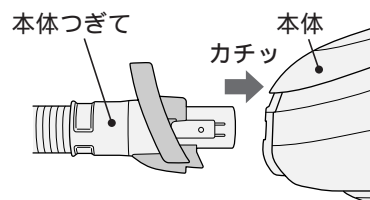


サットとハンドルの取り付けかた

1 サットとハンドルを本体つぎてに取り付ける

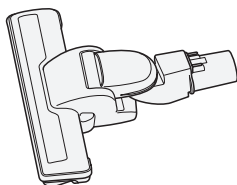


2 本体つぎてを本体に差し込む

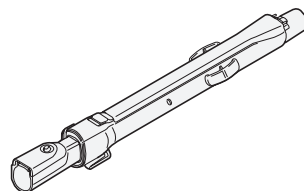


標準付属品

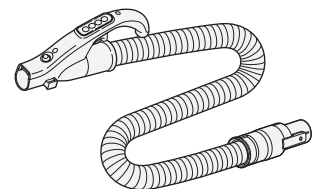
パワーヘッド (1個)
(抗菌消臭イオンワイドパワーヘッド)



延長管 (1本)
(サットズームパイプ)

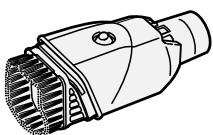


ホース (1本)

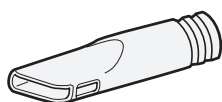


付属応用部品

クルッとブラシ (1個)



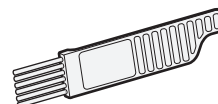
すき間用吸口 (1個)



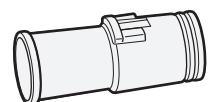
サットとハンドル (1個)

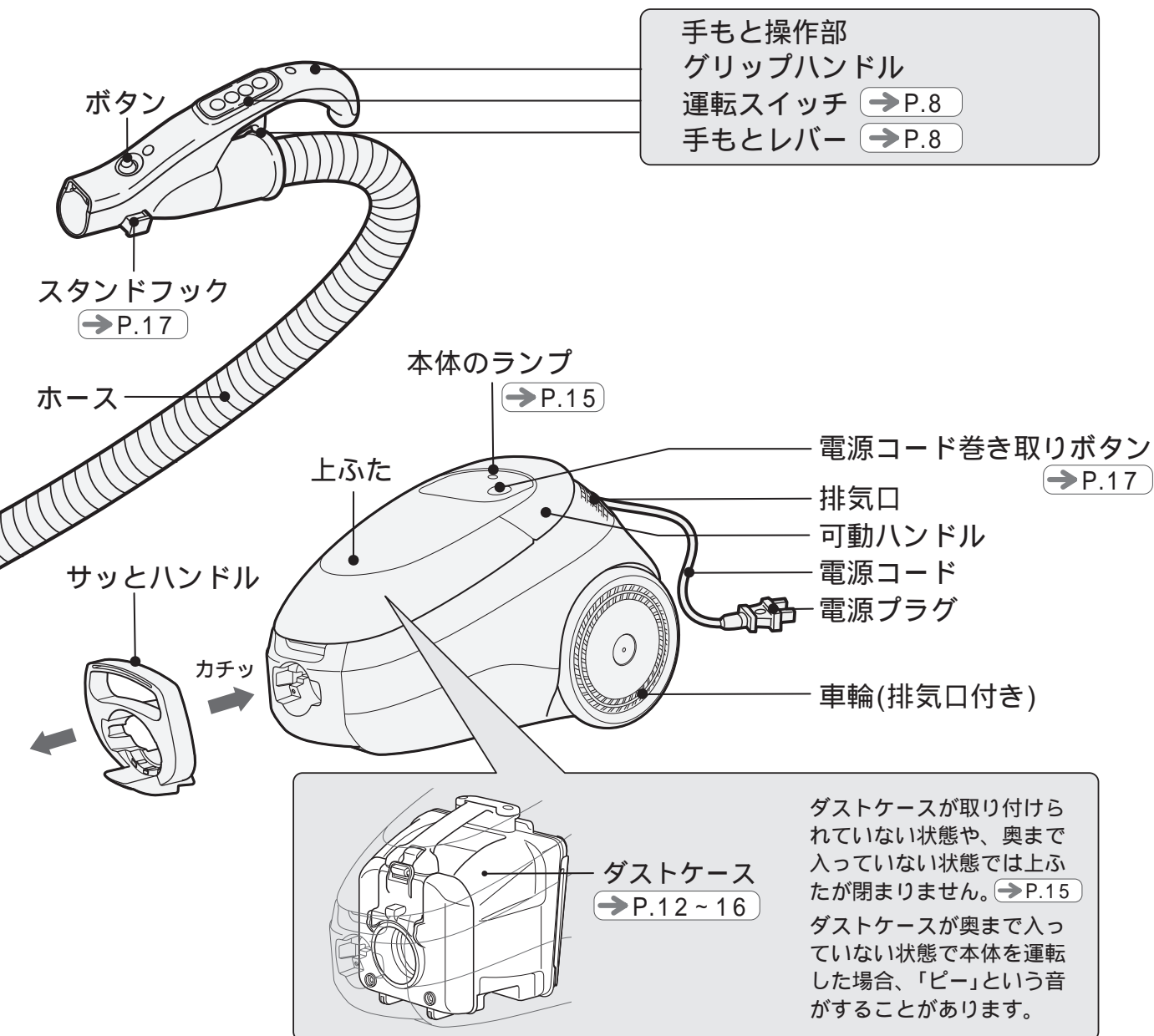


抗菌お手入れブラシ (1個)
(ダストケース底面に
取り付けられています)

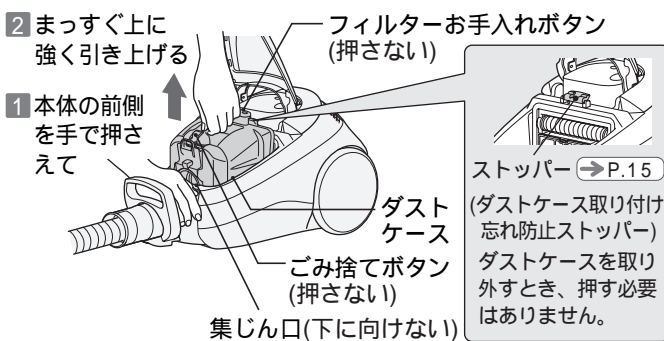


別売り部品接続用
アタッチメント (1個) → P.11





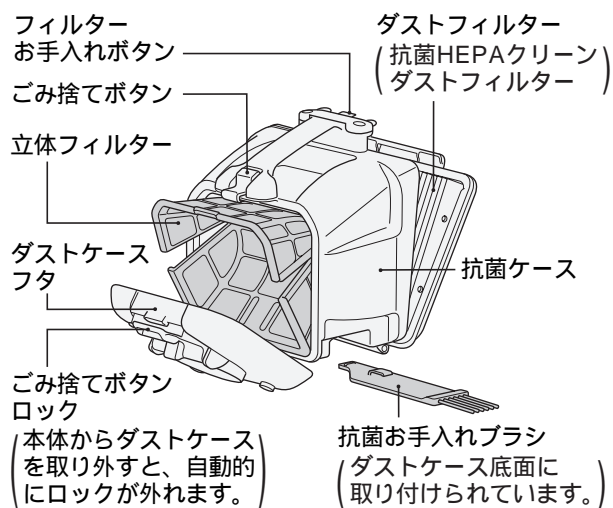
ダストケースの取り外しかた



お願い

ダストケースを取り外すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押したり、「集じん口」を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。

ダストケースの構成



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



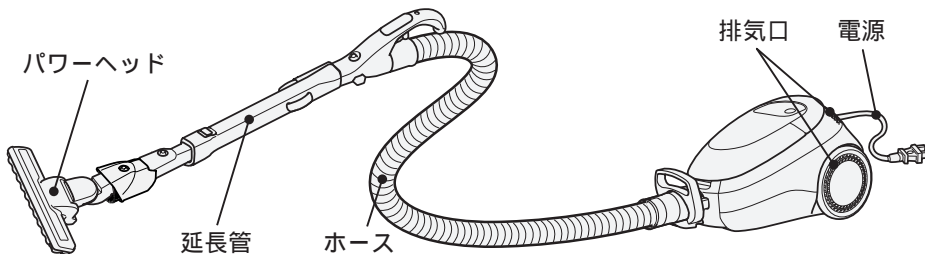
「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。



警告

火災・感電・けがを防ぐために

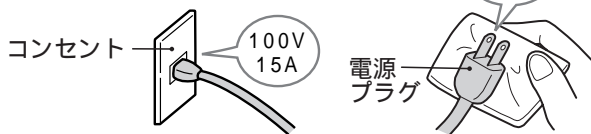
電源(コンセント・プラグ・コード)



定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る



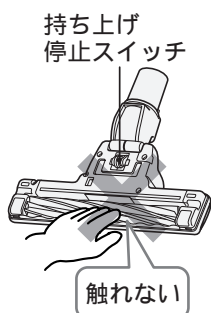
電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
電源コードを回転ブラシに巻き込まない



パワーヘッド



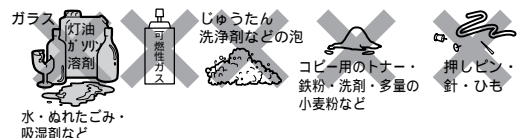
回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
特にお子さまにはご注意ください。



そのほか



絶対に分解したり修理・改造しない
水洗いや風呂場での使用は絶対にしない
灯油、ガソリン、シンナー、可燃性ガス、たばこの吸い殻などを吸わせない



ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

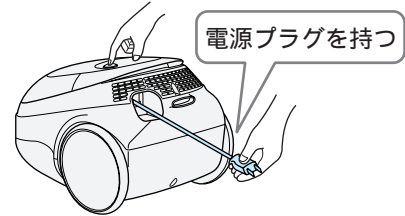
⚠ 注意

発火・ショート・けが・故障を防ぐために

電源(コンセント・プラグ・コード)



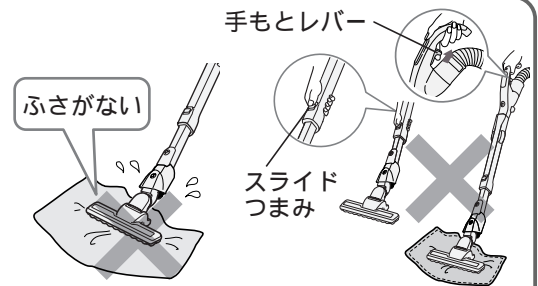
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに
必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。



パワーヘッド(吸込口)



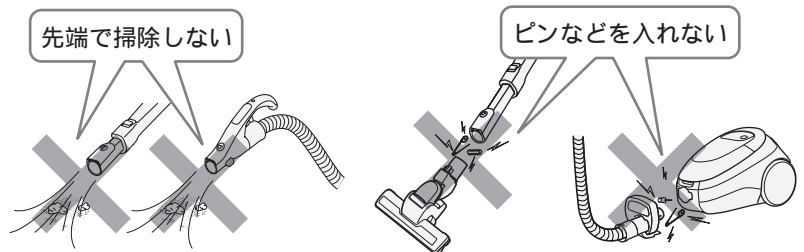
吸込口をふさいで、スライドつまみをスライド
させたり、手もとレバーを引かない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。



ホース・延長管



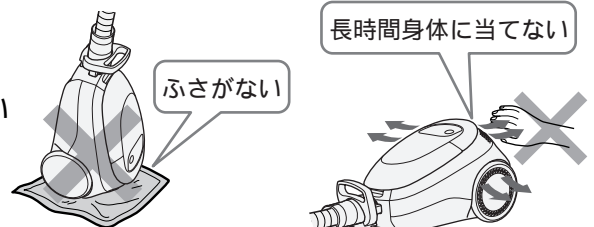
ホースや延長管の先端で掃除しない
破れたり、傷ついたホースを使わない
ホース差し込み口、ホース、
延長管の接点にピンなどを
入れない



排気口



排気口をふさがない
排気口から出る風を、長時間身体に当てない
やけどをすることがあります。



そのほか

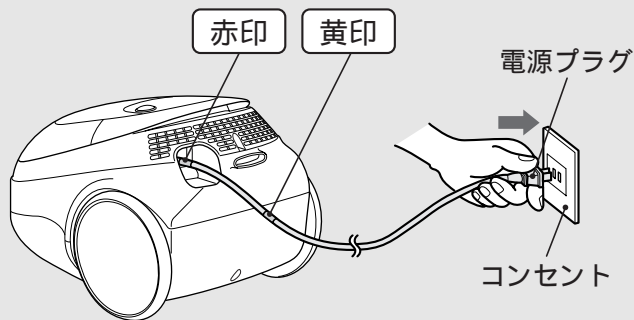


引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)
の近くで使用しない
本体に乗らない
火気に近づけない



運転のしかた

1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む



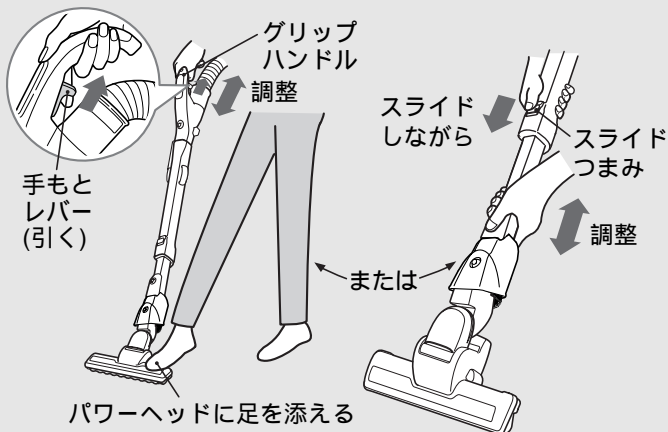
電源コードを引き出すと、Wブルックとエンジンが働きます。→ P.3

お願い

電源コードは赤印以上引き出さないでください。延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。電源電圧の低下により、本体のランプが早く点滅/点灯する場合があります。→ P.15

2 延長管の長さを調節する

パワーヘッドに足を添えて、手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる
または、スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる

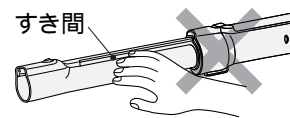


⚠ 注意

けがのおそれあり

運転中に手もとレバーを引いたり、スライドつまみをスライドさせないでください。延長管が急に縮んで手などをはさむことがあります。

延長管のすき間に手などを入れないでください。



3 運転スイッチを押す

強

じゅうたんの念入りなお掃除に

弱

ゆか、たたみなどのお掃除に

標準

ふつうのお掃除に

「強/弱」スイッチは、押すごとに「強」「弱」「強」の順に切り換わります。

「強/弱」、「標準」スイッチを押すと回転ブラシも回転します。



2

回転ブラシの回転を止めたいときに運転中に押すごとに「切」「入」「切」の順に切り換わります。

「パワーブラシ切/入」スイッチを押すだけでは、掃除機本体や回転ブラシは作動しません。

3

運転を止めたいときに

⚠ 注意

けがのおそれあり

吸込口をふさいだ状態で、「強/弱」スイッチや「標準」スイッチを押さないでください。ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

お願い

手もと操作部に衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。故障の原因になります。

お掃除のしかた

パワーヘッドの動かしかた

じゅうたん

前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。
初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。

ゆか・たたみ

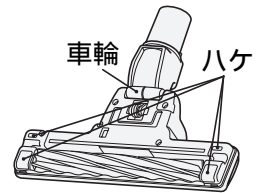
ゆか面の傷つき防止のため、ゆかやたたみの目にそって動かします。

お願い ゆか面の種類によっては、操作が重くなる場合があります。
このときは「弱」運転に切り換えてください。

注意

ゆか面に傷をつけるおそれあり

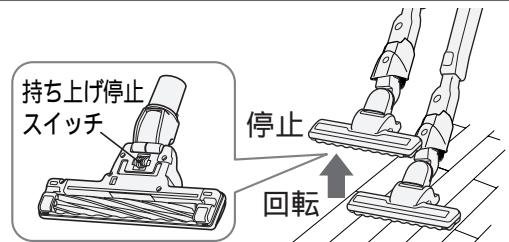
ひのきなどのやわらかいゆかの場合には、パワーヘッドをゆか面に強く押しつけないでください。
車輪やハケが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。 → P.22、23



パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて

パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが働いて回転ブラシの回転が止まります。

持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは → P.18



警告

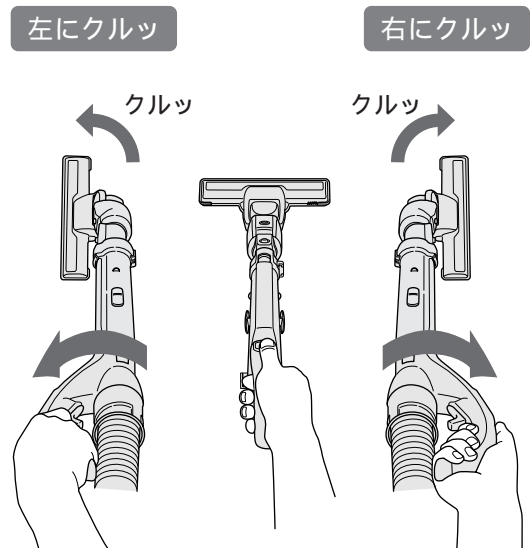
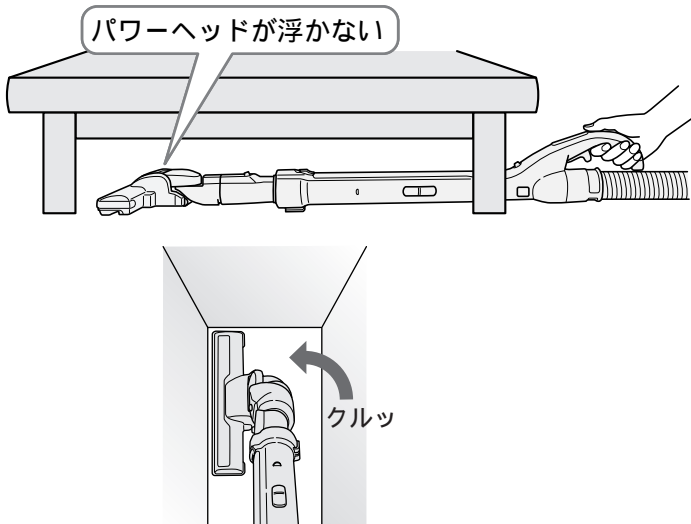
けがのおそれあり

パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れないでください。
回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

ペタリンコ構造・クルッと構造

ベッドの下など低い場所でも奥までしっかりお掃除できます。
また、パワーヘッドがクルッと回ってすき間もスムーズにお掃除できます。

グリップハンドルをひねると、パワーヘッドの向きが変わります。

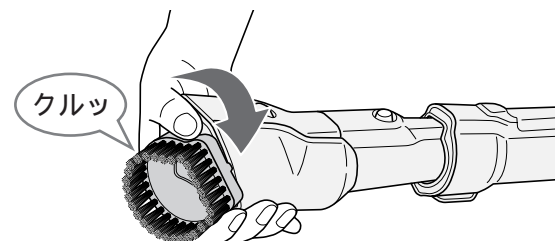


お掃除のしかた(続き)

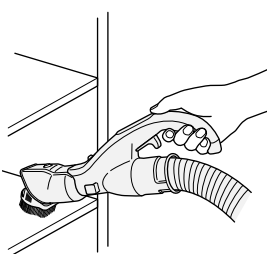
クルッとブラシ

- パワーヘッド(または延長管)を外すとブラシが出ます。ブラシを回して角度が変えられます。

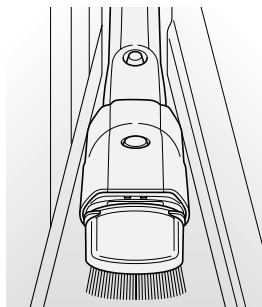
パワーヘッド(または延長管)を元どおり取り付けると、ブラシが収納されます。



棚の上も



すき間も



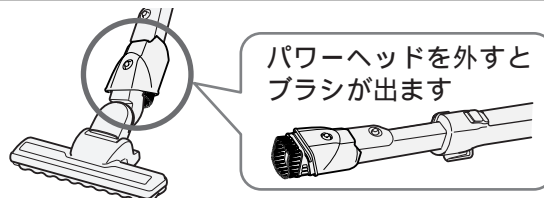
⚠ 注意

傷をつけるおそれあり

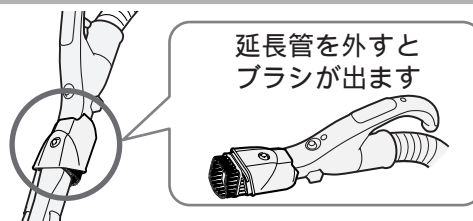
ピアノなど特にやわらかい場所にはブラシを押し付けしないでください。

- クルッとブラシは、パワーヘッド側、手もと操作部側のどちらでも接続できます。

パワーヘッド側に接続して

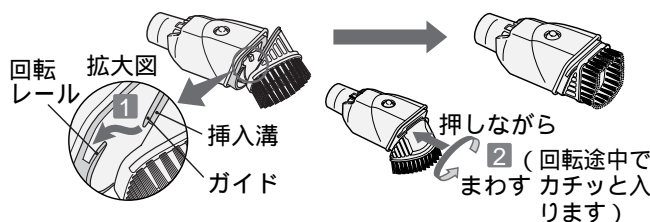


手もと操作部に接続して



使用中にブラシが外れた場合(ブラシの取り付けかた)

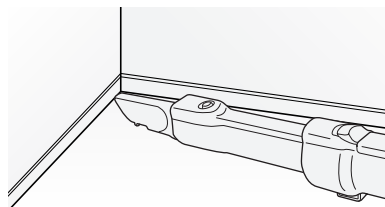
- 1 ガイドの挿入溝を、回転レールの先端に合わせる
- 2 ブラシを押しつけながら、回転させる



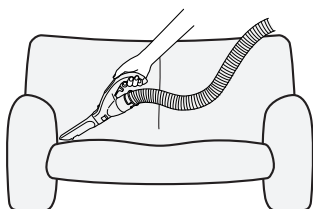
すき間用吸口

- すき間や隅をお掃除する吸口です。

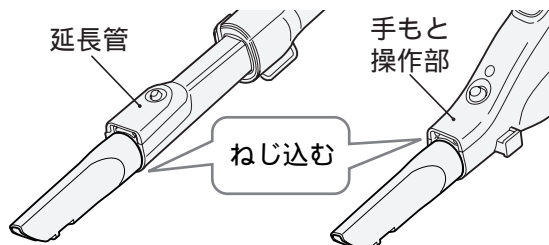
お部屋の隅のお掃除に



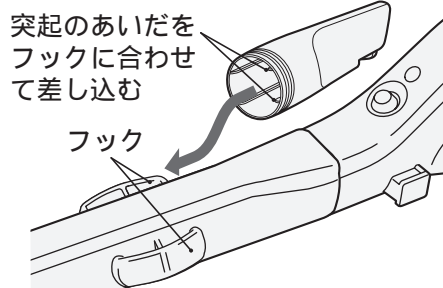
ソファの隅などのお掃除に



- 延長管か手もと操作部にねじ込んでご使用ください。

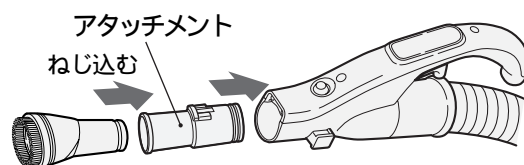


- 左右いずれかのフックに差し込んで収納します。



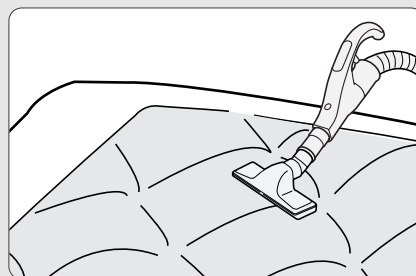
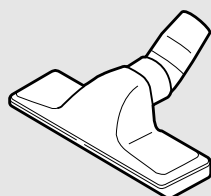
あと便利な別売り吸口

- 付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口が使えます。(→ P.23)
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。



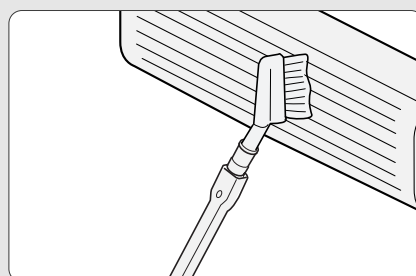
ふとん用吸口(G-52)

ふとんを傷めず、ダニ・ホコリ・糸くずなどを吸い取る吸口です。
(「弱」運転でご使用ください。)
水洗いができます。



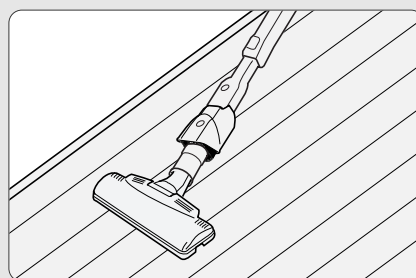
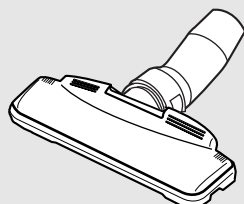
はたき吸口(D-H3)

はたき感覚で、エアコン、ブラインド、家具などをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。



丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

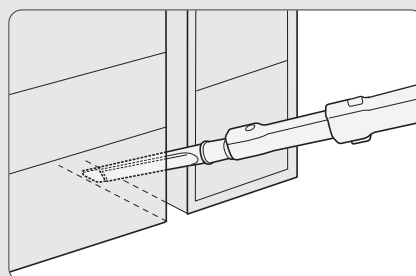
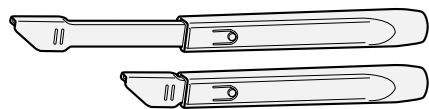
フローリング、たたみに適した大きめの拭き専用ブラシ付きの吸口です。
(「標準」「弱」運転でご使用ください。)
水洗いができます。



伸縮すき間用吸口(D-SH2)

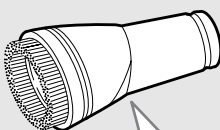
すき間の奥まで届く、先が細い2段伸縮の吸口です。
水洗いができます。

吸口の長さが変えられます。

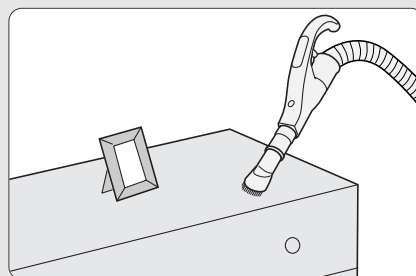
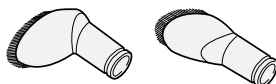


棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などをお掃除する吸口です。
水洗いができます。



吸口の角度が変えられます。



ごみの捨てかた

●お掃除が終わったら、ダストケースを取り外し (→ P.5)、

1 「立体フィルター」と 2 「ダストフィルター」のごみを捨ててください。

●本体のランプで、ごみ捨ての目安をお知らせします。(→ P.15)

●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。(→ P.14)

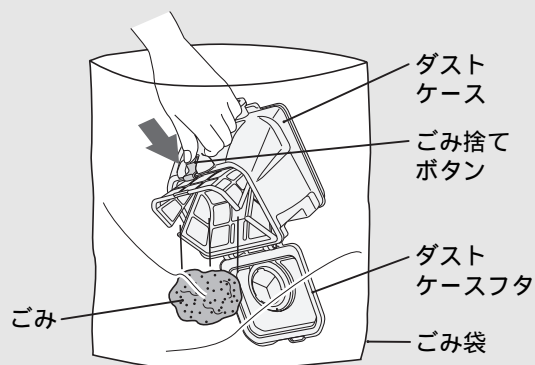
お願い ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにご注意ください。

1 「立体フィルター」のごみの捨てかた

●強い吸込力でお掃除していただくため、毎回のお掃除ごとのごみ捨てをおすすめします。

1 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す

ダストケースフタを下に向けてごみ捨てボタンを押し、ごみを捨てる



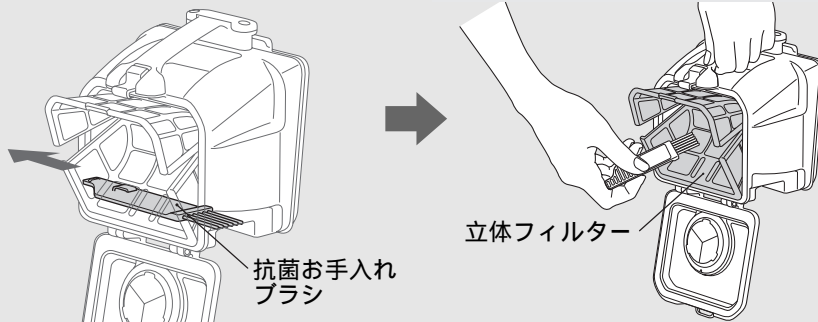
お願い

ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2 立体フィルターに付着したごみを取り除く

ダストケース底面に取り付けられている抗菌お手入れブラシを取り外す

目詰まりを取り除く



注意

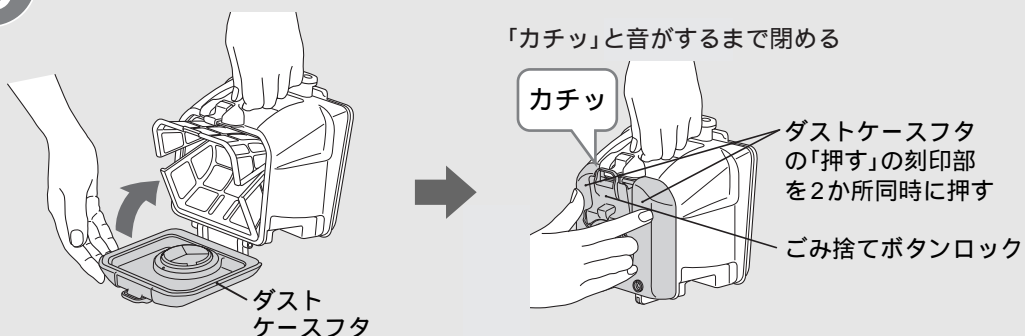
けがのおそれあり

ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んだときは、手を直接触れないで捨ててください。

立体フィルターは取り外しできません。

3 ダストケースフタを閉める

「カチッ」と音がするまで閉める



ごみ捨てボタンロックを押すと、ダストケースフタが閉まりません。

2 「ダストフィルター」のごみの捨てかた

●強い吸込力でお掃除していただくため、1か月に2回程度のごみ捨てをおすすめします。

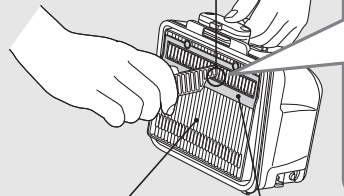
1

ダストフィルターのチリを落とす

抗菌お手入れブラシの柄の先端部を、ダストフィルターの白いひだ部分に押し当てながらチリおとしガイドにそわせて、左右に5往復程度動かす

●これによりダストフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。

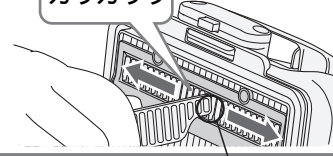
抗菌お手入れブラシの柄の先端部



ダストフィルター チリおとしガイド

柄の先端部を、ダストフィルターの白いひだ部分に押し当てながら左右に動かす

カリカリッ



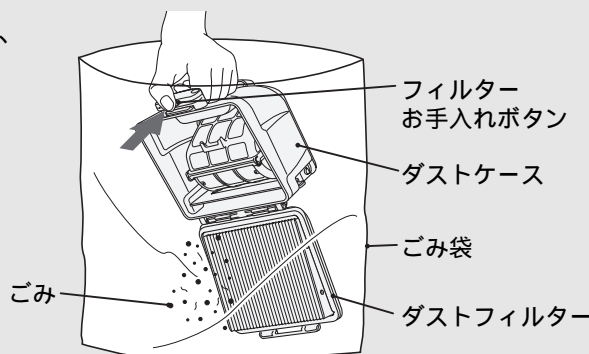
柄の先端部

2

ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、フィルターお手入れボタンを押す

ダストフィルターを下に向けてフィルターお手入れボタンを押し、ごみを捨てる

●ダストフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。



フィルター
お手入れボタン

ダストケース

ごみ袋

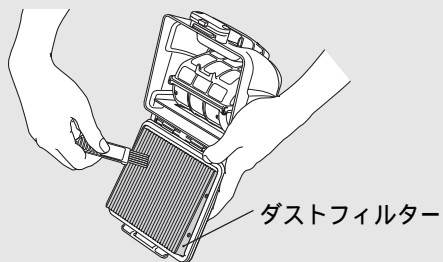
ダストフィルター

ごみ

3

ダストフィルターに付着したごみを取り除く

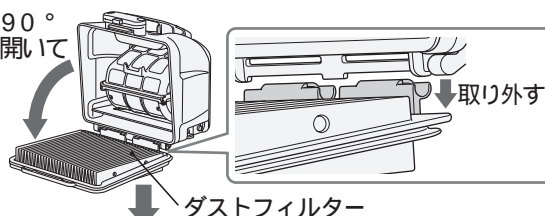
ダストフィルターのひだを広げて、奥にたまったごみを抗菌お手入れブラシで取り除く



ダストフィルター

取り外してお手入れすることもできます。

1 90°
開いて



取り外す

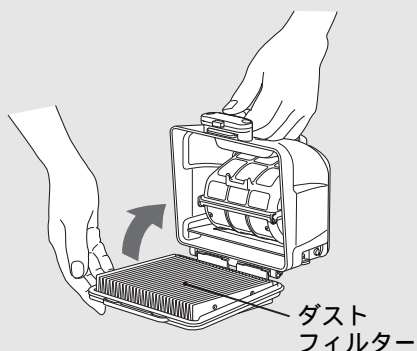
ダストフィルター

2 下方向に取り外す

お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

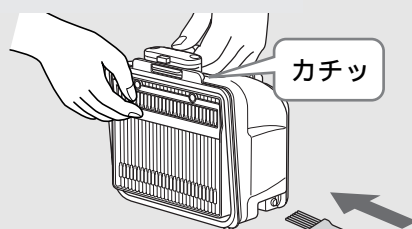
4

ダストフィルターを閉め、抗菌お手入れブラシを取り付ける



ダスト
フィルター

1 「カチッ」と音がするまで閉める



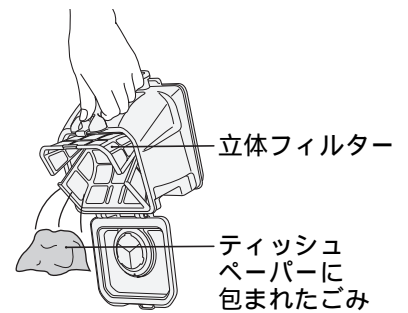
カチッ

2 ダストケース底面に
抗菌お手入れブラシ
を取り付ける

ごみの捨てかた(上手な使いかた)

●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。

お願い ティッシュペーパーは市販されている2枚重ねのものを
ご使用ください。
ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。

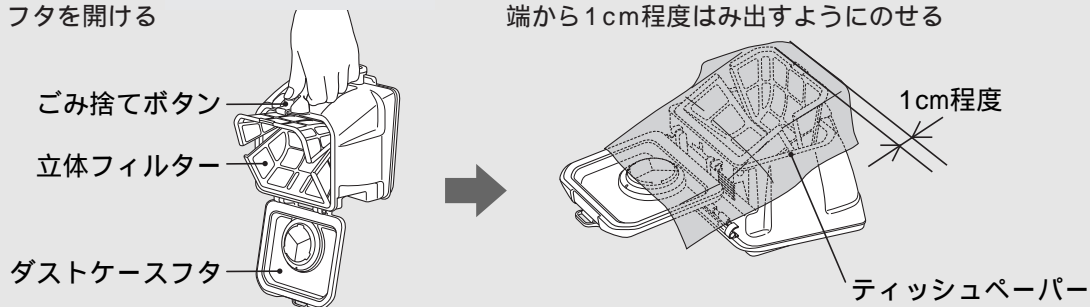


ティッシュペーパーの取り付けかた

1 ティッシュペーパーを広げて、立体フィルターにのせる

ごみ捨てボタンを押し、ダストケースフタを開ける

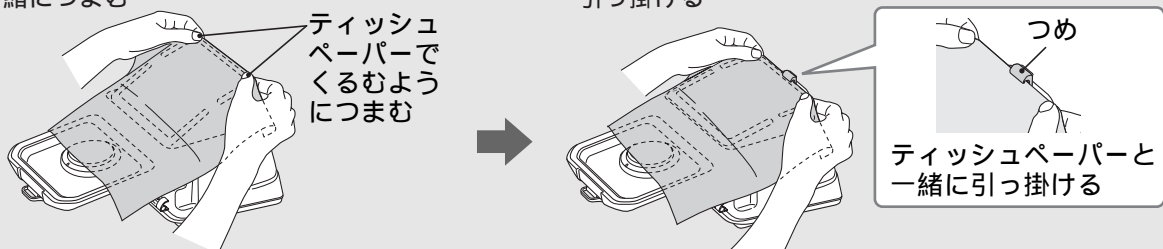
ティッシュペーパーの端が、立体フィルターの端から1cm程度はみ出すようにのせる



2 立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける

立体フィルターの端をティッシュペーパーと一緒につまむ

立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける



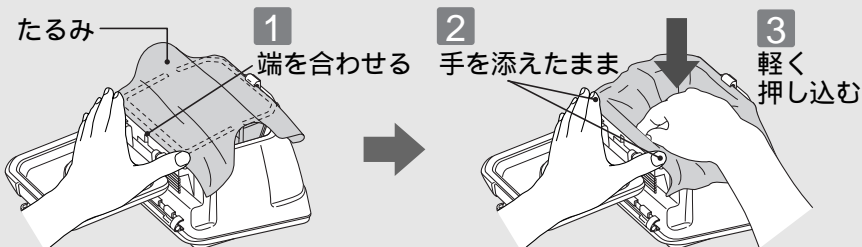
3 ティッシュペーパーを立体フィルターの中へ軽く押し込む

1 ティッシュペーパーの端をダストケースの端に合わせる
(中央にたるみができます)

2 ティッシュペーパーの端に手を添えたまま、

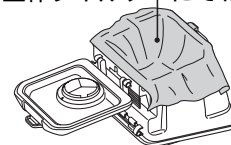
3 立体フィルターの中へ軽く押し込む

ティッシュペーパーを折りたたむ必要はありません。

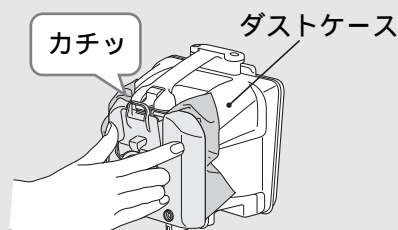


お願い

ティッシュペーパーは、立体フィルターにそわせて取り付けてください。
ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがあります。
立体フィルターにそわせる

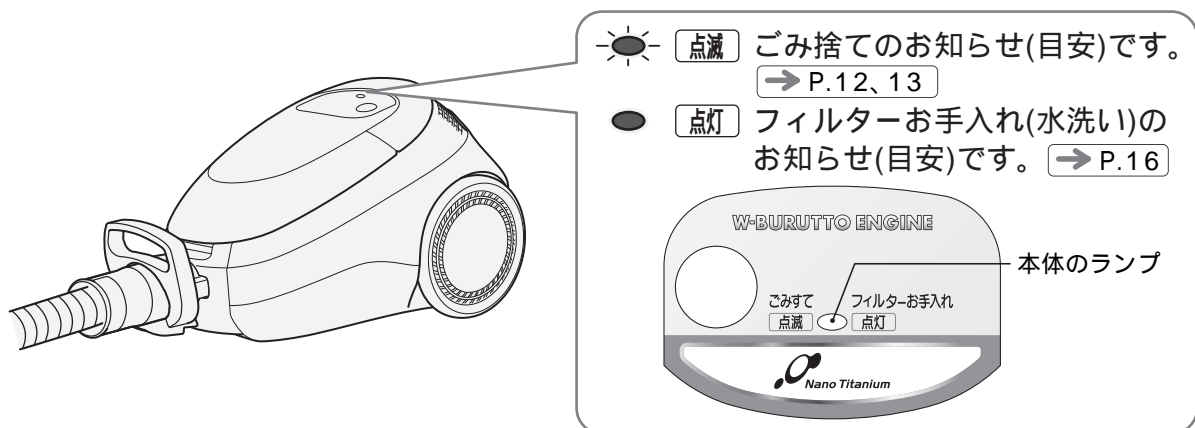


4 ダストケースフタを閉める



ティッシュペーパーがダストケースからはみ出している問題ありません。
ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。

本体のランプ(ごみすて/フィルターお手入れ)について



本体のランプが点灯すると同時に、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転が止まります。 → P.20 本体のランプが点灯しているときは、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシは回転しません。

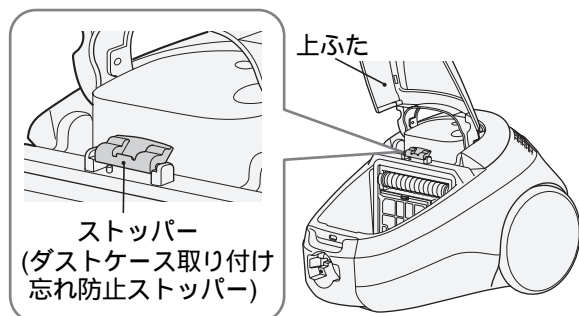
こんなときは...

- 細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせるとき
少量のごみでも「本体のランプ」が点滅/点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。
- 綿ごみなどが多いとき
ごみがいっぱいになっても「本体のランプ」が点滅/点灯しないことがあります。
毎回のお掃除ごとの「立体フィルター」のごみ捨てをおすすめします。
また、1か月に2回程度の「ダストフィルター」のごみ捨てをおすすめします。
- 毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたとき、すき間用吸口をご使用のとき
吸い込み風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「本体のランプ」が点滅/点灯することがありますが、そのままご使用いただけます。
- ティッシュペーパーを取り付けたとき
通常より早く「本体のランプ」が点滅/点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。
- 延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用のとき
電源電圧の低下により、本体のランプが早く点滅/点灯することがあります。
定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。
- 本体のランプが点滅したまま運転を続けたとき
本体のランプが点灯することがあります。
「立体フィルター」と「ダストフィルター」のごみを捨ててください。

上ふたのストッパーについて

ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。必ず、ダストケースを取り付けてから上ふたを閉めてください。

ダストケースが取り付けられていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたやストッパーが破損するおそれがあります。



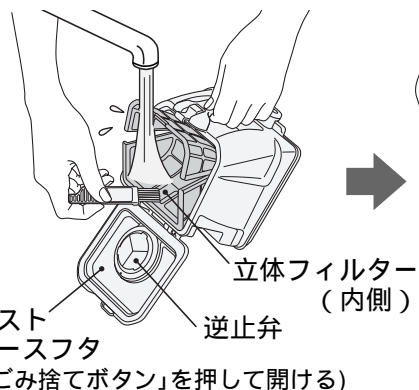
吸込力が弱くなったら

ダストフィルターのゴミを捨てても「吸込力が回復しない」、
「本体のランプが点灯した」とき

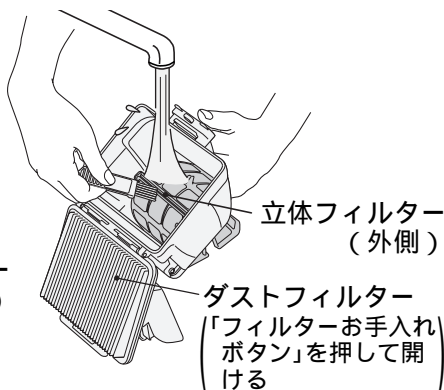
各フィルターを水洗いし、十分に自然乾燥させてください。乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります。)

立体フィルター（内側、外側）

ダストケースフタを開けて
内側を水洗いしてください。



ダストフィルターを開けて
外側も水洗いしてください。

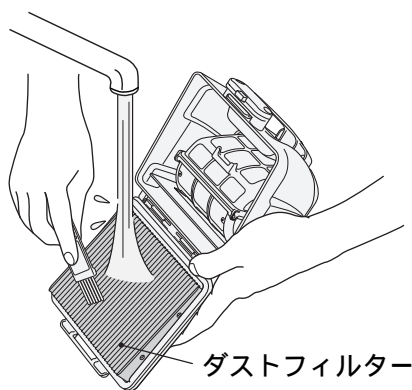


お願い

立体フィルターを強く押し洗わないでください。破損の原因になります。逆止弁を引っ張らないでください。破損の原因になります。

ダストフィルター

ひだを広げて奥にたまったゴミを水で流してください。

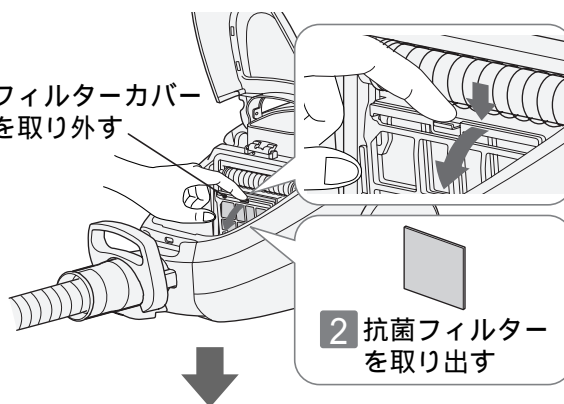


取り外してお手入れすることもできます。

→ P.13

抗菌フィルター

1 フィルターカバー
を取り外す



水で軽くもみ洗いし、
たたいて水気を切り、
自然乾燥させる

抗菌フィルター

お願い

洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘア・ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因になります。

付着しているゴミやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。

付属の抗菌お手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。

破損の原因になります。

ダストケースおよび各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。

モーターにゴミが入り、故障の原因になります。

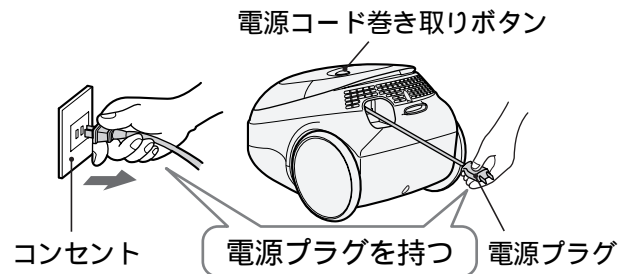
各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、フィルターの劣化が考えられます。

各フィルターの取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→ P.22、23

あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部(Ⓜ)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。(跳ね上がりによるけが、家具への傷つきを防ぐためです。)



収納のしかた

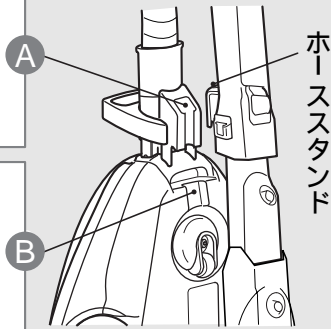
- 1 延長管を縮めて (→ P.8) 取り付け溝にホーススタンドを差し込む

クルッとブラシをパワーヘッド側に取り付けているとき (→ P.10)

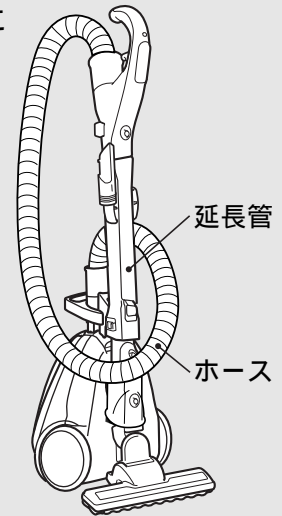
Aの取り付け溝に

クルッとブラシを手もと操作部側に取り付けているとき (→ P.10)

Bの取り付け溝に

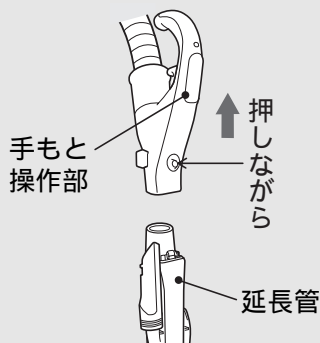


- 2 ホースを延長管に巻きつける

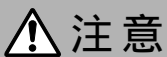
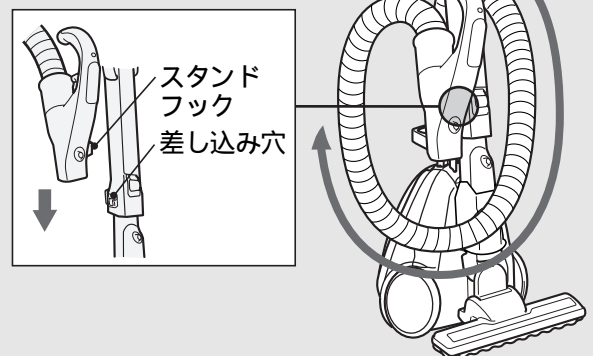


さらにコンパクトに収納したいとき

- 1 手もと操作部を延長管から外す



- 2 ホースを延長管に巻き付けて、差し込み穴にスタンドフックを差し込む



注意

けがのおそれあり

収納状態のまま持ち運ぶと、ホースや延長管が外れることがあります。

お願い

ストーブの近くや高温になる場所での収納はしないでください。ホースの変形や故障の原因になります。ホースが変形するような状態での収納はしないでください。

吸込力が弱くなったら

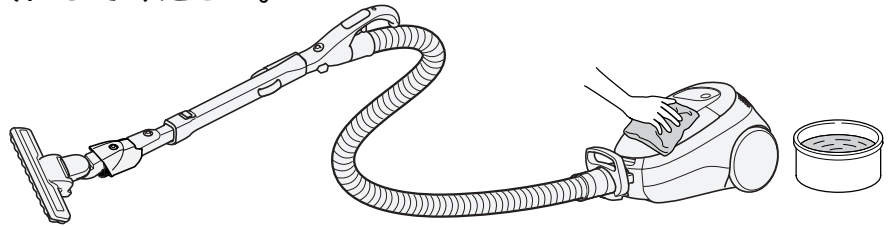
あとかたづけ

お手入れのしかた

本体・付属品

汚れが気になるときはお手入れしてください。

水を含ませたやわらかい布を
よく絞ってからふく



お願い ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因になります。

パワーヘッド

吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。

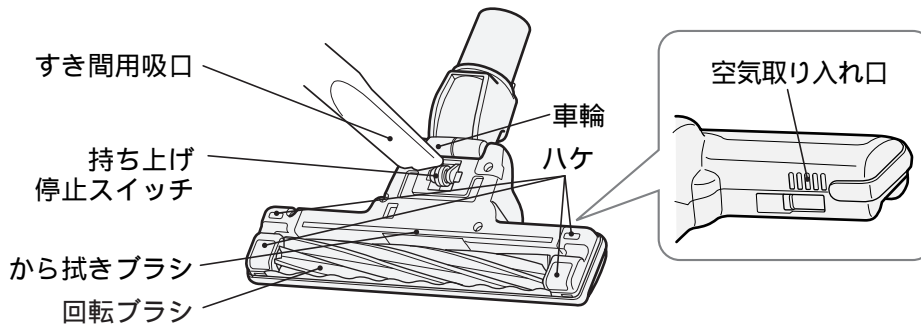
定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。

持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口にゴミが付着していると、吸込力の低下や故障の原因になります。

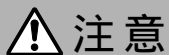
お願い パワーヘッドを取り外してからお手入れしてください。

付着したごみを取り除く

すき間用吸口を使ってごみを吸い取ることもできます。



お願い 持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。
破損の原因になります。



注意

ゆか面に傷をつけるおそれあり

車輪やハケが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。

→ P.22、23

車輪に絡みついたごみを取り除く

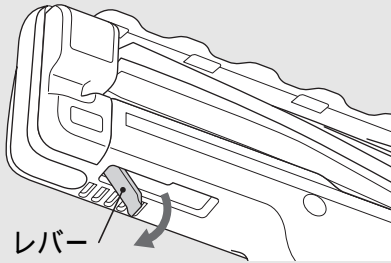
ピンセットなどで取り除いてください。



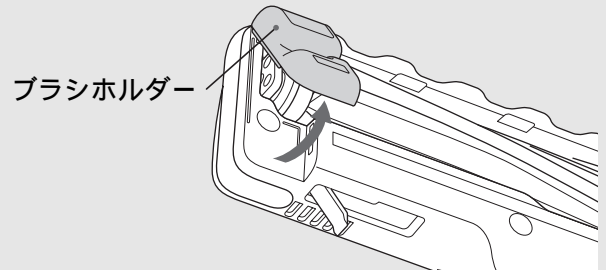
回転ブラシをお手入れする

1 ブラシホルダーを取り外す

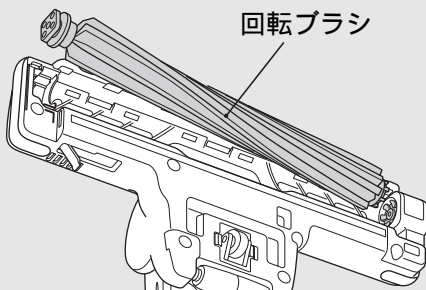
1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く



2 ブラシホルダーを取り外す



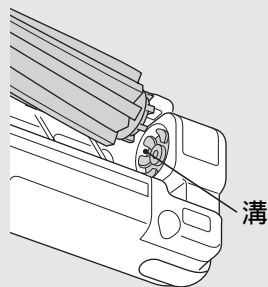
2 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く



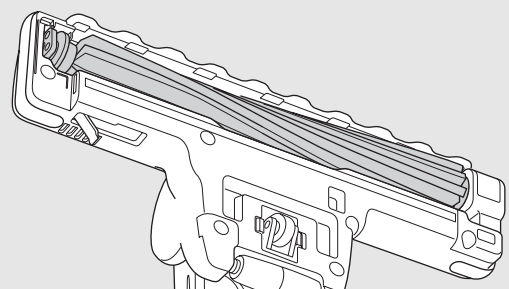
お願い 洗剤、漂白剤などは使用しないでください。変色、変形などの原因になります。回転ブラシを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる

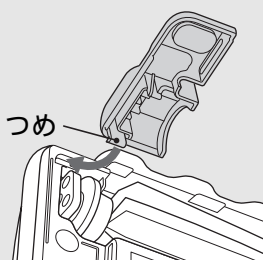


2 元どおり取り付ける

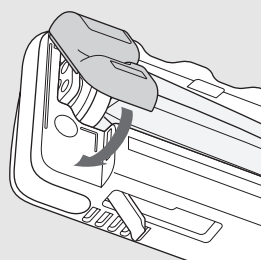


4 ブラシホルダーを取り付ける

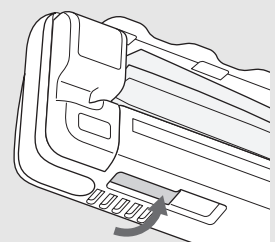
1 つめを引っ掛ける



2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める



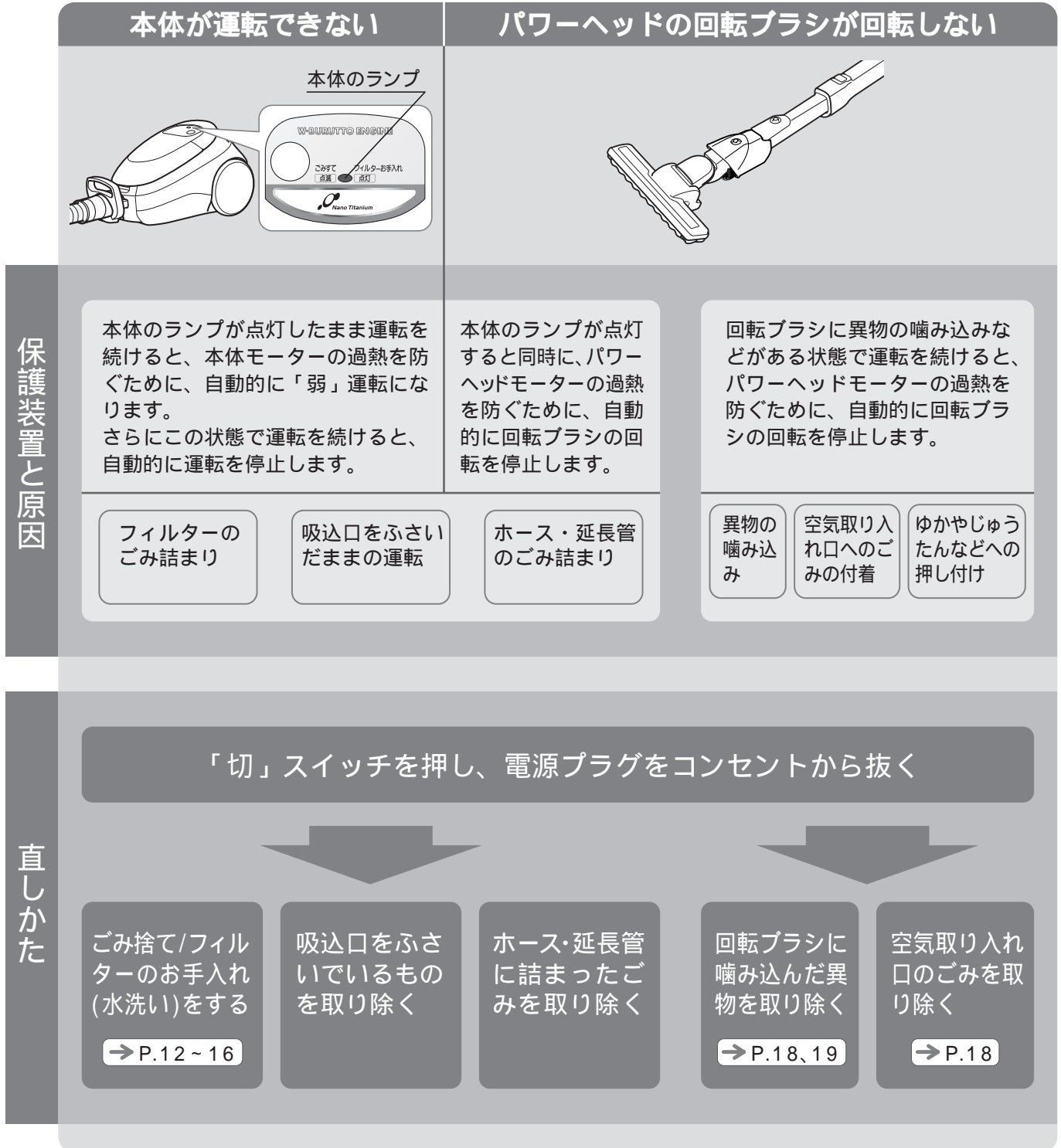
故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない、パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。



約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

その他の症状

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	<ul style="list-style-type: none"> (1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。 (2)フィルターにごみが付着していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)ごみを捨ててください。 (2)各フィルターのお手入れをしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> P.12 P.13 P.16
ダストケースのごみがいっぱいではないのに吸込力が弱い、本体のランプが点滅／点灯する	<ul style="list-style-type: none"> (1)フィルターにごみが付着していませんか。 (2)延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていますか。 (3)パワーヘッドにごみが詰まっていますか。 <p>延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントでご使用になると、電源電圧の低下により、本体のランプが早く点滅／点灯する場合があります。定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1)各フィルターのお手入れをしてください。 (2)ごみを取り除いてください。 (3)ごみを取り除いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> P.16 - P.18 P.19 -
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●すき間用吸口、クルッとブラシをカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。 	<p>本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後は、パワーヘッドに力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。 	-
本体が運転しない	<ul style="list-style-type: none"> (1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 (2)本体にホースが確実に差し込まれていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)しっかり差し込んでください。 (2)「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> P.8 P.4 P.5
パワーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	<ul style="list-style-type: none"> (1)パワーブラシが「切」になっていませんか。 (2)本体、ホース、延長管、パワーヘッドがしっかり接続されていますか。 (3)パワーヘッドがゆか面から浮いていませんか。 (4)回転ブラシ、空気取り入れ口、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。 (2)しっかりと接続してください。 (3)ゆか面から浮かせると止まる機能になっています。 (4)ごみを取り除いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> P.8 P.4 P.5 P.9 P.18 P.19
本体から「ピー」という音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	-
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。		-
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れて本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		-
排気から異臭が出る	<ul style="list-style-type: none"> (1)フィルターにごみが付着していませんか。 (2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)各フィルターのお手入れをしてください。 (2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。 	<ul style="list-style-type: none"> P.16 P.16
クルッとブラシのブラシが出ない	内部にごみが詰まっていますか。	ごみを取り除いてください。ブラシに付着したごみは「すき間用吸口」で吸い取ってください。	-
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.22

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」(→ P.20、21)をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、パワーヘッド)も一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

- 1 型式 - CV-SLC07
- 2 症状 - できるだけ詳しく

保証について

この商品は保証書付きです。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間は買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

一般家庭用以外でご使用になるとき

共同(寮など)でご使用になるなど、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換(パワーヘッドなど)が必要になることがあります。

買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってお使いになることをおすすめします。

このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

この掃除機は家庭用です

転居される場合

ご転居により、買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

スイッチを入れても時々運転しないことがある。
電源コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。
運転中に異常な音や振動がする。
本体が変形していたり、異常に熱い。
焦げ臭い“におい”がする。
その他の異常があるとき。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理は買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間)

9:00 ~ 19:00 (365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00 ~ 17:30(月~土)、9:00 ~ 17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。

携帯電話、PHSからもご利用できます。

「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただきます。

ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただきます。修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
 価格は、2007年11月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●別売り吸口をご使用になる場合は、付属の別売り部品接続用アタッチメントをご使用ください。 → P.11

<p>ふとん用吸口(G-52)</p>  <p>希望小売価格 1,785円(税抜 1,700円)</p>	<p>はたき吸口(D-H3)</p>  <p>希望小売価格 3,990円(税抜 3,800円)</p>	<p>丸洗いフローリングヘッド(D-F3)</p>  <p>希望小売価格 5,250円(税抜 5,000円)</p>
<p>伸縮すき間用吸口(D-SH2)</p>  <p>希望小売価格 1,680円(税抜 1,600円)</p>	<p>棚用自在吸口(D-TJ2)</p>  <p>希望小売価格 1,260円(税抜 1,200円)</p>	

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

<p>すき間用吸口</p>  <p>サービスパーツ CV-SJ10-030 すき間用吸口 とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)</p>	<p>抗菌お手入れブラシ</p>  <p>サービスパーツ CV-SK20-001 抗菌お手入れブラシSK とご指定ください 希望小売価格 420円(税抜 400円)</p>	<p>サッとハンドル</p>  <p>サービスパーツ CV-SJ10-029 サッとハンドルSJ10 とご指定ください 希望小売価格 1,260円(税抜 1,200円)</p>
<p>クルッとブラシ</p>  <p>サービスパーツ CV-SJ9-020 クルッとブラシ とご指定ください 希望小売価格 2,100円(税抜 2,000円)</p>	<p>別売り部品接続用アタッチメント</p>  <p>サービスパーツ CV-SK20-027 アタッチメントブクミ(SK) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)</p>	<p>ダストフィルター</p>  <p>サービスパーツ CV-SL10-013 BフィルタークミSL とご指定ください 希望小売価格 1,470円(税抜 1,400円)</p>
<p>ブラシホルダー(ハケ)</p>  <p>サービスパーツ CV-SK20-023 ジクウケカバー-L,Rセット とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)</p>		<p>車輪</p>  <p>サービスパーツ CV-SK20-022 ローラLセット とご指定ください 希望小売価格 840円(税抜 800円)</p>

上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

電源	100V 50-60Hz共用	質量	5.5kg(標準付属品を含む)
消費電力	1000W~約300W	本体寸法	長さ330mm×幅255mm×高さ219mm
吸込仕事率	570W~約80W	標準付属品	ホース.....1本 パワーヘッド.....1個 延長管.....1本
運転音	59dB~約53dB		付属応用部品
集じん容積	0.5L		
コードの長さ	5m		

	部品名	抗菌の確認を行った試験機関名	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部分の名称
抗 菌 効 果	パワーヘッド	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	回転ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902に準ずる*	繊維に付着	刷毛
	抗菌ケース	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	ダストフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	シート状不織布
	抗菌お手入れブラシ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌フィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	シート状不織布

* 蛍光灯照射時(1,000lx)

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

平成

年

月

日

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111